

出来事（2020年5月）

1. 医薬品安定供給等支援事業 厚生労働省

中国等の海外で生産される原薬・原料の依存度が高い抗菌薬等の医薬品について、当該製造所の操業停止等により、我が国における当該医薬品の提供ができなくなり、医療体制確保に支障が生ずることがないように、海外依存度の高い原薬・原料を国内製造する製薬企業を支援する。

補正予算：30億円

<https://www.mhlw.go.jp/content/10900000/000621170.pdf>

2. サプライチェーン対策のための国内投資促進事業費補助金 経済産業省

ビタミンC等のビタミン類の国内移転も対象となると考えられる。

補正予算：2,200億円

受付：2020年5月22日～7月22日

先行受付：2020年5月22日～6月5日

<https://www.meti.go.jp/information/publicoffer/kobo/2020/k200522001.html>

3. 新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針

3月28日（令和2年5月25日変更）の「新型コロナウイルス感染症対策本部決定」により、緊急事態宣言時に事業の継続が求められる事業に、「三つの密」を避けるための取組を講じつつ、事業の継続を求めるとのこと。

その中の「3. 国民の安定的な生活の確保」として、「・自宅等で過ごす国民が、必要最低限の生活を送るために不可欠なサービスを提供する関係事業者の事業継続を要請する。」とされ、以下の10の事業があげられた。食品添加物関係事業者は、③に該当する。

- ① インフラ運営関係（電力、ガス、石油・石油化学・LPガス、上下水道、通信・データセンター等）
- ② 飲食料品供給関係（農業・林業・漁業、飲食料品の輸入・製造・加工・流通・ネット通販等）
- ③ 生活必需物資供給関係（家庭用品の輸入・製造・加工・流通・ネット通販等）
- ④ 食堂、レストラン、喫茶店、宅配・テークアウト、生活必需物資の小売関係（百貨店・スーパー、コンビニ、ドラッグストア、ホームセンター等）
- ⑤ 家庭用品のメンテナンス関係（配管工・電気技師等）
- ⑥ 生活必需サービス（ホテル・宿泊、銭湯、理美容、ランドリー、獣医等）
- ⑦ ごみ処理関係（廃棄物収集・運搬、処分等）
- ⑧ 冠婚葬祭業関係（火葬の実施や遺体の死後処置に係る事業者等）
- ⑨ メディア（テレビ、ラジオ、新聞、ネット関係者等）
- ⑩ 個人向けサービス（ネット配信、遠隔教育、ネット環境維持に係る設備・サービス、自家用車等の整備等）

<https://www.mhlw.go.jp/content/10900000/000633501.pdf>

4. 食品添加物の新規指定 パブコメ2件

- ・JS1252株を利用して生産されたエキソマルトテトラオヒドロラーゼに係る食品健康影響評価に関する審議結果（案） 期間：4月22日～5月21日
*でんぷんの加水分解酵素で、パンの品質の持続等の効果等
- ・炭酸カルシウムに係る食品健康影響評価に関する審議結果（案） 期間：4月22日～5月21日

5. 食品の放射能問題

（原子力災害対策特別措置法第20条第2項の規定に基づく食品の出荷制限）

- ① 福島県、青森県、岩手県、宮城県、山形県、茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、新潟県、山梨県、長野県、静岡県の特定の動植物の出荷の制限
- ② 5月の新たな出荷制限はありません。

6. FAOとEUはCOVID-19パンデミック時に食品サプライチェーンを維持する必要性を強調

FAO Newsによると、FAOのQU Dongyu事務局長とPhil Hogan欧州貿易コミッショナーがバーチャル会合を行い、COVID-19 パンデミック時に食品サプライチェーンを維持することの重要性について合意。貿易の制限や備蓄は逆効果であり食品サプライを脅かしCOVID-19 対応を妨げる可能性がある。

<http://www.fao.org/director-general/news/news-article/en/c/1272689/>

7. 世界食品安全デー 6月2日 World Food Safety Day

6月2日、国連のフードシステムサミットと国際農業開発基金（IFAD）が世界 食品安全デーのためにTwitter チャットを開設する予定。Twitterアカウントを持っている人は誰でも会話に参加でき、ハッシュタグは#WorldFoodSafetyDay と #WFSDchat である。以下の質問について、Twitter で自分たちの意見や経験を共有しよう。

- 1) どうして食品安全はみんなの仕事なの？
- 2) 食品安全は、世界的な新興課題（COVID-19、気候変動、移住など）によって、どのような影響を受ける？
- 3) COVID-19の時に、どうすれば食品安全が優先事項であり続けるようにできる？
- 4) 食料安全と栄養の保障を達成するのに、なぜ食品安全が重要なもの？
- 5) 消費者はどうすれば食品が安全であることを確実にできる？
- 6) どうやって食品安全をフードシステムに当てはめる

<http://www.fao.org/fao-who-codexalimentarius/news-and-events/news-details/en/c/1276326/>

8. 米国FDA は任意適格輸入業者プログラム（VQIP）への申請期間を7月31日まで延長 受益期間：2020年10月1日～

<https://www.fda.gov/food/cfsan-constituent-updates/fda-extends-application-period-voluntary-qualified-importer-program-july-31-0>

9. グリホサート 発がん性 再試験

ANSES（フランス）は、2019年8月にいくつかの追加試験を実施するための入札募集。

- ・グリホサートの暴露後に細胞ストレスに関連する可能性のあるヒトや動物の細胞への影響を調査する *in vitro* 試験
- ・グリホサートの遺伝毒性の可能性を明確にする、ラットとマウスの（胃、腸、肝臓、腎臓、膵臓に関する）*in vitro* コメットアッセイと小核試験
- ・グリホサートの *in vitro* で同定される発がん作用の潜在的な作用モードやメカニズムをわかるようにする、形質転換法と併用した細胞形質転換試験

<https://www.anses.fr/en/content/study-carcinogenic-potential-glyphosate-anses-announces-scientific-teams-selected-conduct-0>

10. ANSES（フランス）は、免疫反応を低下させる可能性のあるサプリメントに警告

ヤナギ、セイヨウナツユキソウ（meadowsweet）、ハルパゴフィツム（harpagopytium）、ターメリック、エキナセア、カバノキ、ポプラ、甘草（liquorice）等

<https://www.anses.fr/en/content/anses-warns-against-taking-food-supplements-could-lower-body's-immune-response>

11. ペルーの農家は止まらない FAO 2020年4月30日

COVID-19 のパンデミックは多くのビジネスを休止させたが、食品を生産する農家はそうではない。世界が食べ続けられるように食料生産は続ける必要がある

<http://www.fao.org/fao-stories/article/en/c/1272415/>

12. 輸入食品の違反事例

- ・有限会社天草フーズが、中国から輸入した「生あさり」の命令検査で、ピフェントイン 0.03ppm 検出による成分規格不適合とされ、廃棄、積戻し等が指示された。また、五十嵐冷蔵株式会社が、中国から輸入した「無加熱摂取冷凍食品：蒸しあさり（剥き身）」の命令検査で、ピフェントイン 0.09ppm 検出による成分規格不適合とされ、廃棄、積戻し等が指示された。

*プロメトリン：トリアジン系除草剤

- ・福秀株式会社が、中国から輸入した「生鮮たまねぎ」行政検査で、チアメトキサム 0.04ppm 検出による成分規格不適合とされ、廃棄、積戻し等が指示された。

*チアメトキサム：ネオニコチノイド系殺虫剤

（作成：2020年5月30日）